

戸田市の財政事情

問い合わせ
財政課 (内線 415)

市では年 2 回、財政状況の公表を行っています。
今回は、平成 30 年度決算および令和元年度上半期の状況についてお知らせします。

平成 30 年度決算

平成 30 年度の決算は、限られた財源を有効的に各事業に配分し、経費全般について削減を図りながら、計画的・効率的な予算執行に努め、次のとおりになりました。



市民の負担の状況：一般会計

平成 30 年度一般会計決算額を市民一人当たりへに換算した場合、次のようになります。

平成 31 年 4 月 1 日現在 | 人口 139,770 人
(昨年度 138,960 人)

市民一人当たりの公共サービスにかかるお金

353,983 円
(昨年度 360,864 円)

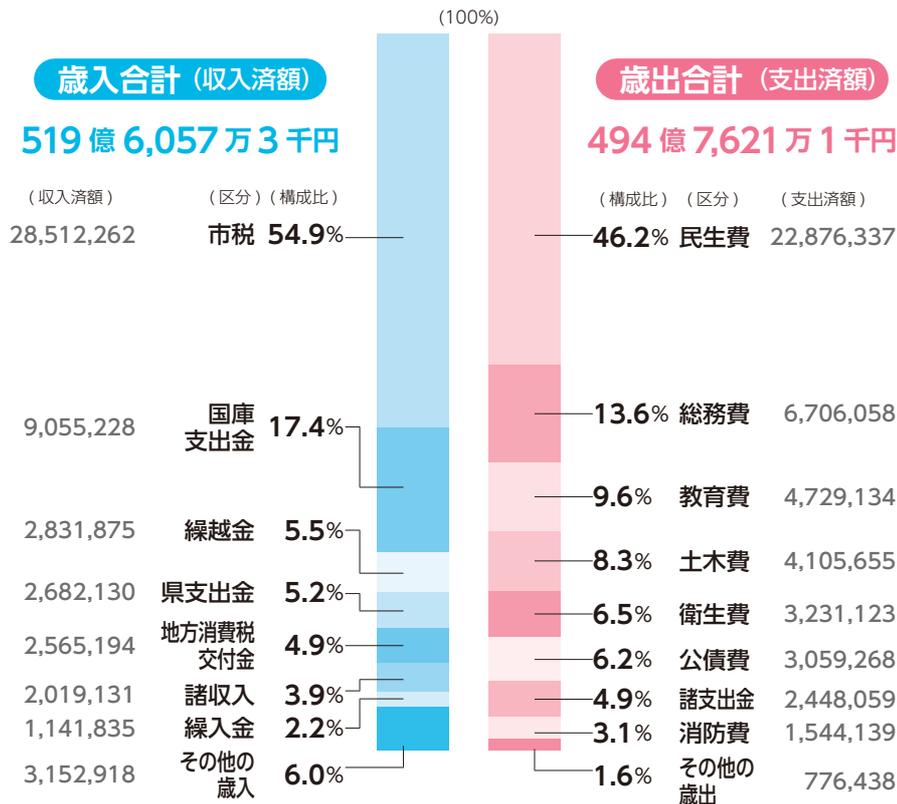
市民一人当たりの負担 (市税)

203,994 円
(昨年度 207,639 円)

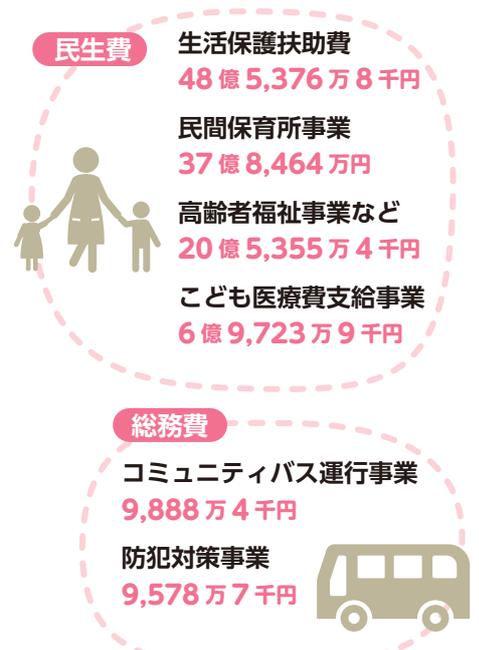
国・県からの支出金収入や
競争事業収益配分金などの税以外の収入

149,989 円
(昨年度 153,225 円)

一般会計 (単位:千円)



主な使い道



平成30年度に行われた主な事業（H30年度決算額）

学童保育室事業

4億4,799万5千円



喜沢小学校の公立学童保育室2室の老朽化などに対応するため、2室分の児童を受け入れら

れる施設を新たに整備しました。また、保育需要の高い地域を中心に民間学童保育室を誘致することで新たな受け皿を確保し、待機児童対策に取り組んでいます。



防災事業

2億2,936万円

市からの防災情報をより確実に伝達するため、防災行政無線の放送内容を受信できる防災ラジオの配付を開始しました。また、新しい荒川の浸水想定区域図を掲載した「戸田市ハザードブック」を全戸配布しました。



消防車両の整備事業

3,148万2千円



消防車両更新計画に基づき、高規格救急自動車・高度救命処置用資機材(救急2号車)の更新を行いました。市民の安全な暮らしを守るため、消防体制の強化を図っています。

財政指標

平成30年度決算において算出した財政指標は、①、②は黒字、③、④は基準値を下回っており、いずれも「健全段階」にあります。

4つの財政指標

		戸田市の 財政指標	早期健全化基準 (戸田市)
① 実質赤字比率	普通会計に相当する一般会計および特別会計の赤字の程度を示し、資金繰りの深刻度を示す比率	- (黒字)	11.80%
② 連結実質赤字比率	水道事業など、市の全ての会計の資金繰りの深刻度を示す比率	- (黒字)	16.80%
③ 実質公債費比率	一般会計などが負担する借入金返済額を指標化したもの。この比率が高いと各年度の財政運営が厳しくなる。	5.0%	25.0%
④ 将来負担比率	市の借入金など、財政負担の残高を指標化したもの。この比率が高いほど、将来的な財政負担が高くなる。	18.7%	350.0%

特別会計 (単位：千円)

会計	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険	12,163,700	11,360,720	11,186,818
市民医療センター	919,819	886,213	820,074
交通災害共済事業	9,277	8,261	7,110
海外留学奨学事業	10,545	4,296	3,861
火災共済事業	3,908	2,700	2,491
新首第一 土地区画整理事業	899,188	888,162	746,966
介護保険	6,295,761	6,347,584	6,124,494
新首第二 土地区画整理事業	1,221,111	984,592	918,927
後期高齢者医療	1,134,364	1,090,672	1,077,456
在宅介護支援事業	102,341	93,838	74,432
合計	22,760,014	21,667,038	20,962,629

※収入額には一般会計からの繰入金も含まれています

土木費

公園整備・緑化対策
7億4,539万7千円

河川整備
4億4,702万8千円

道路・橋りょう整備事業
3億9,465万6千円



教育費

小・中学校費
13億1,219万2千円

学校給食事業
12億5,498万1千円

私立幼稚園助成事業
3億4,874万2千円



衛生費

ごみ・し尿処理事業
14億9,891万6千円



